

令和5年度2回 栗東市立図書館協議会 議事録

- 開催日時 令和6年2月17日(土) 10:00～11:30
- 開催場所 栗東市立図書館 小会議室
- 出席者 國松完二、三好勉、角井浩美、大屋邦代、吉川なおみ、柗美樹、橋本香子、辻村章子
- 事務局 図書館長、館長補佐、係長
- 欠席者 2人
- 傍聴者 0人

概要

- 1、開会
市民憲章唱和
- 2、委嘱状の交付
- 3、自己紹介
- 4、協議事項
 - ① 会長、副会長の選任について
 - ② 令和5年度事業報告について
 - ③ 令和6年度図書館運営方針及び事業計画(案)について
 - ④ その他
- 5、閉会

- 1、開会
(事務局) 新しい委員の選任後、初の会議のため、会長の選任までは事務局で進行する。
- 2、委嘱状の交付
- 3、自己紹介
- 4、協議事項
 - ①会長、副会長の選任について
委員より、事務局一任と意見。会長に國松委員、副会長に三好委員をお願いする。

(会長挨拶)

図書館ができてからもうすぐ40年になります。図書館が抱える課題なども多くなっていますが、その辺りを委員の皆さんと一緒に考えていきたいと思っております。図書館協議会は図書館法で定められた外部機関で、場合によっては、市への提言をするようなこともあるかもしれません。ぜひ図書館を応援する立場で、ご意見を出していただければと思います。よろしくお願いいたします。

(副会長挨拶)

図書館は自宅から近く、ちょうど散歩のコースとして歩いています。子どもたちが小さい頃は、県立図書館の方にもよく散歩に連れて行きましたので、図書館は非常に親しみのあるところです。一緒に頑張っていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

②令和5年度事業報告について

(事務局)「令和5年度事業報告」について説明

(委員) 資料に、「行事の見直しによって、普段図書館をあまり利用しない層が来館するきっかけとなりました」とありますが、どのくらいの年代層の方が来られましたか。

(事務局) 高齢の方から小さいお子さん連れの方まで、幅広くお越しいただきました。特に子どもさんは、図書館の予想しないところに人気が集まることもありましたので、そういった動きを上手く探りながら来館に繋げていきたいと思っております。

(委員) 広報の見直しをしたいというようなことをおっしゃっていたのですが、普段の広報はどのような形でされていますか。

(事務局) 行事の広報は、広報りっとう、市のフェイスブック、図書館のホームページ、図書館内のチラシ配布です。大きい行事の時には、児童館やコミセンなどにチラシ配布をお願いすることもあります。現在は、どの方法が効果的だったのか精査もできていない状態ですので、行事を目的に来館された方がどうやってその行事をお知りになられたのか探るところから始めて、より効果的な広報を目指していきたいと思っております。

(委員) 図書館内での広報は図書館に来ないと手に入りませんし、今、フェイスブックもやっていない人が多いです。私の子どもの意見ですが、図書館に来たら行事をしているのに、学校では全然知る機会がない、もっと学校にチラシを貼ったりしないのかなと言っていました。

(事務局) 積極的に検討したいと思います。

(事務局) 今、申し上げたことのほかに、中高生向けイベントの時は、電車通学の高校生をターゲットに駅にポスターを貼るなどにも取り組んでいます。こうして、実際に子どもさんからのご意見をいただくと、学校に協力をお願いする時の力になりますので、とてもありがたいです。

(委員) フェイスブックは、月何回など、決まっているのですか。

(事務局) 回数は特に制限はありません。

(委員) 学校宛てに本の紹介のおたより「ぷかぷか」を送っていたかと思えます。そこには行事のことは書いてあるのでしょうか。

(事務局) 掲載をしております。「ぷかぷか」は、通常、各クラスに掲示していただけるように、クラス数分をお送りしています。実際にどのように掲示していただいているかは、なかなか、掴みきれていない状況ではあります。

中学校には大人向けの「図書館だより」を同じように送っておりまして、そちらにも、行事予

定を掲載しています。

(委員) 昔、子どもが小学生の頃、毎月「ぷかぷか」をもらってきたような気がするのですが、今はクラス掲示のみですか？

(事務局) 夏休みに「ぷかぷか」を特別号ということで作成し、本の紹介と夏休みの行事の紹介を載せており、これについては全員配布という形でやっております。

(委員) 高校生や大学生になった時に、子どもの頃からの図書館に来る、本を読むといった習慣がないと、なかなか読書をしないう、読書に繋がっていかないと思います。

(事務局) おっしゃっていただいた通り、小さいころからの習慣づけというのは大切だと思っています。その意味も含め、まずは幼稚園に移動図書館で本を届けることを行っています。あとは、子どもが大きくなっていった時に、なるべく本との関わりを途切らせない、そのための方策をとっているのですが、どうしても中学生になった時、高校生になった時と、段々利用が落ちていってしまうのが現状です。

(委員) 大きくなるほど忙しくなっていくので、難しいなと思います。

(委員) 守山図書館では、常設の喫茶コーナーがあって非常にいいなと思っていたのですが、栗東でも「としょかんまつり」でコーヒー販売をされたということで、非常にいい取り組みだなと思いました。家族連れで来やすいと思います。

それから、広報りっとうですが、もう少し充実できないものでしょうか。文字で予定が羅列されていますが、例えば写真入りにして、活動報告も載せて、情報が目から入ってくるようなのができないかなと。ページ数のこともあるので難しいところもあるかと思いますが、もう少し充実できないかなと思います。

(事務局) 今年、広報りっとう 10月号で、図書館の職員の載った写真が表紙を飾り、特集ページには、今おっしゃっていただいたような、写真入りの行事紹介や活動報告が掲載されました。その時には、来館された皆さんから、大変多くの「見たよ」というお声がけをいただきました。来年度もページをいただいていますので、顔の見える関係を続けていきたいと思っています。

(委員) フェイスブックで、いつも図書館の正面の写真を載せているのを見るんですけど、それこそ職員さんがおすすめの本を持った写真などを載せたら、反応があるのではないのでしょうか。フェイスブックを見ている時は、やはり写真に目が止まるので。

(会長) SNSでの情報発信は今はインスタグラムが有力になってきているかと思います。インスタで情報を発信することで、利用者がこれまでは見ていなかった図書館の情報を目にするようなことも多くなっているようです。

それから、長浜市の事例ですが、小さいお子さんの保護者向けにアプリを作られている。そこに図書館の情報も載せています。これは図書館だけでできることではありませんが、ぜひ取り組んでもらえるといいのかなと思っています。

(事務局) 広報課とはいろいろ相談をしていますが、今、市の方でも、新しい広報手法の検討を進めているようです。市役所の他の課としっかり繋がって、SNSなどの流れにも積極的に参加していきたいと思っています。

(会長) ぜひ積極的に取り組んでください。

③令和6年度図書館運営方針及び事業計画(案)について

(事務局)「令和6年度図書館運営方針及び事業計画(案)」について説明

(委員) 移動図書館でいつもお世話になっています。子どもたちと本との出会いのきっかけを作るのはとても大事だと感じてるので、お話にあったブックスタートなどをされていくのは、大切なことだと感じています。

幼稚園でも、子どもたちは自分の図書カードができることをとても喜びますし、カードがあれば家から図書館に来て借りるということもできるので、充実してきている感じがしています。以前の移動図書館を知らなかった若い担任の先生たちも、子どもたちの姿に気付いてきて、積極的に、来年度に向けて今のうちにもうカードを作っておきましょうというような意見を出してくれるようになりました。こういった形の取り組みは、大事にして、これからも増やしていただければと思います。

葉山は、本館も西館も遠いので、コミセンで図書コーナーを作ったりなど、地元でもいろいろして下さっていますが、移動図書館が来てくださって、助かっています。

それから、自分の子どもの時を思い出すと、やはり図書館に勉強をしに行っていたかと思えます。今、街中のカフェなども、大学生がたくさんいますが、皆さんパソコンで資料を作ったりなどされています。そういう空間が世の中に必要になってきているのかなと感じています。図書館も、そういうところを少しずつ広げていってもらえると、中高生や大学生の利用も増えていくのかなと感じます。

(会長) 資料にあるレファレンスコーナーの充実というのは、何かレイアウトそのものを変えるのですか。

(事務局) レイアウトは、栗東に関する資料のスペースを広げるために、2年ほど前に変更しました。今は、職員が栗東という町を知るという基本的なところから始めているのが正直なところですが、以前に比べると紙の本の形での出版が減っている現状もありますので、その中で、どういうものを大事にしていくかの見直しを、担当で行っています。

(会長) 自習できるようになると、椅子だけでなく机が必要になってきますが、その関連のスペースの拡張なども、多少は行うのでしょうか。

(事務局) 本館ではもうスペース的な余裕がないので、西館で新たな座席を増設したいと検討しているところです。

(委員) 例えば曜日を決めて、会議室を開放するなどはしないのでしょうか。

(事務局) 会議室の使用予定が密に入っているのが、難しい状況です。曜日などを決めて開放してしまうと、他の予定が入れられなくなってしまうという課題もあり、実施するとしたら、単発の形になってしまう、というのが現状です。

(委員) 移動図書館についてですが、対象が幼稚園と限られているのは、良いことだと思います。その対象に合ったものを持っていきますので。前回には、車体にみどり号と貼って行くというお話

もあったかと思いますが、子どもの印象に残るので、これも良い取り組みだと思っています。巡回先を段々増やしているところだということなので、頑張ってもらいたいです。

本館のことで、図書館は、本を読むだけでなく、地域の人が集まる場のような感覚もあるんじゃないかと思っています。学生さんのように頑張ってもいいし、何となく集まる場になってもいいんじゃないかと思うので、スペースの制約で難しいこともあるかと思いますが、集まれるようにできたらいいなと思っています。

(事務局) そうした思いは私たちも持っていて、大変さやかではあります。外にベンチを置いてみました。おしゃべりしても飲食をしても大丈夫な場所をと館内への設置も検討したのですが、なかなか難しく、屋外のベンチ一つから始めてみたという状況です。

(委員) 博物館との間の芝生で、時々、子どもさんがシートを敷いて昼食にとっているの、ほほえましいなと思っています。そうしてみると、本当に、そういった場所が開放されるといいなと思います。

(委員) 中高生向けの学習スペースについてですが、本校の図書館でも、日頃来ない子がテスト前に勉強しに来ることがあります。学校図書館でも考え方はいろいろですが、本校では勉強可としていて、勉強に来た時に置いてある本に気付いて、次に借りてもらおうきっかけになったらいいなと思いながら、場所提供しています。

高校生は本当に忙しくて、どうしても時間的な問題で読書が途切れがちです。その中で、学校は毎日訪れてくる場であり、生活の場でもありますので、学校にいる時間内にどれだけ図書館に呼べるか、本を読んでもらえるかと考えています。そのために本を紹介しても、普段本を読まない子にはあまり響きませんが、授業で課題が与えられて、図書館に連れてきてもらって、必ずきちんとした本から情報を探しましょうとなると、何とか本を探そうとします。そんな中で、自らがそれぞれの地域の図書館に行けるように高校生を繋いでいくことも、学校図書館として大事だと思っていますし、自分で図書館に来て、探している本のことを訊けるようになったら、大学生になっても自分で調べる力になるだろうと思っています。その一環として、栗東図書館にも研修などで来させてもらったり、レファレンスを受けた時に、検索結果をプリントアウトして自分で図書館に行ってみよう促したり、ちょっとしたことではあります。そんな取組みをしています。

それから、学習スペースについては、マナーのことが気になっています。昔、学習のための場所取りで他の利用者さんが座席を使えないというのが問題になったことがあったかと思いますが、ある程度のスペースがあって環境が整うと、やはり朝一番から場所取りをするようなことが出てくるかと思うので、その辺りが少し気になるなと思っています。

もし問題があったら、学校でも、座席があることを生徒たちに案内しながら、こんな風に使ってね、とマナーについて伝えることもできるかなと思いますので、その辺りもまたいろいろなお話をさせてもらえたらと思っています。

④その他

(事務局)「レファレンス記録」について説明

(会長) 特徴的な問合せなどありましたか。

(事務局)「葉山小学校の昭和30年代の校歌」は、小学校に訊いたけれどわかりませんでした、という問合せでした。今の校歌でなくて、昔の校歌ということで、学校ではわからなかったようです。調べたところ、周年記念誌に掲載されていました。

(委員) 古い校歌について尋ねる方がいらっしゃった、ということですね。

(事務局) 学校史に関係することは、葉山に限らず他の地域の学校についても、時々問合せがあります。

5、閉会

(館長挨拶)

新しいメンバーの皆さんと、これから2年間、図書館のことを考えていけるのは何よりの喜びです。厳しいご意見もいただけたらと思います。しっかりと皆さんに使っていただける図書館にしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

本日はお忙しい中、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

次回

令和6年9月21日(土曜日) 午前10時から 本館小会議室